

別記様式 1

平成 年 月 日

一般社団法人  
日本削節検査・認証協会  
会 長 殿

住 所  
氏名又は名称  
代表者の氏名  
印

## 認 定 申 請 書

農林物資の規格化等に関する法律（昭和 25 年法律第 175 号）第 14 条第 1 項の規定に基づき認定を受けたいので、下記のとおり申請します。

### 記

- 1 製造者の氏名又は名称及び所在地  
名 称：  
所在地：
- 2 格付を行おうとする農林物資の種類  
名 称：
- 3 当該農林物資の製造又は加工を行う工場又は事業所の名称及び所在地  
名 称：  
所在地：  
製造工場の責任者（工場長）：
- 4 製造又は加工、保管、品質管理及び格付のための施設 添付 1 書類のとおり
- 5 品質管理の実施方法 添付 2 書類のとおり
- 6 品質管理を担当する者の資格及び人数 添付 3 書類のとおり
- 7 格付の組織及び実施の方法 添付 4 書類のとおり
- 8 格付を担当する者の資格及び人数 添付 5 書類のとおり

工場の名称	
-------	--

#### 工場の機構図及び人員

区分	事務職員	技術職員	工員	計	備考
事務関係					
原料保管関係					
製造関係					
製品資材保管関係					
品質管理関係					
格付関係					
計					

#### 機構図

- 1 品質管理責任者、品質管理担当者、格付責任者、格付検査担当者の氏名を附記すること。ただし、格付のための試料の検査を自ら行わない場合にあつては、品質管理責任者、品質管理担当者、格付担当者の氏名を附記すること。
- 2 課、係名まで詳細に記入すること。
- 3 機構ごとの人員を附記すること。

工場の名称	
-------	--

工場略図及び機械その他の施設の設置状況

(記載にかえて青写真を添付しても差し支えない。)



工場名称	
------	--

4-2 機械器具

区分	内容				
(1) 原料水洗装置	材質	基数	備考		
(2) 蒸煮又は焼軟装置	型式	材質	基数	備考	
(3) 乾燥機(乾燥する場合に限る。)	型式		基数	1日の処理能力	備考
				kg	
(4) 削り機械	型式	区分	台数	1日の処理能力	備考
		自動・半自動		kg	
(5) 破砕機(碎片を製造する場合に限る。)	型式		台数	1日の処理能力	備考
				kg	
(6) ふるい装置	型式	材質	台数	1日の処理能力	備考
				kg	
(7) 計量機	型式	感量	台数	備考	
(8) 不活性ガス充てん・密封装置(パック品を製造する場合に限る。)	型式		台数	1日の処理能力	備考
				kg袋	

工場の名称	
-------	--

#### 4-3 保管施設

	区分	面積	収容能力	内張の材料	温度計の有無	室温	その他	備考
原料保管施設	冷凍庫	m <sup>2</sup>			自記温度計：有・無 温度計：有・無			
	冷蔵庫	m <sup>2</sup>			自記温度計：有・無 温度計：有・無			
	倉庫	m <sup>2</sup>			有・無		防鼠防虫設備 の有・無	
	その他	m <sup>2</sup>					防鼠防虫設備 の有・無	
資材・製品保管施設	冷蔵庫	m <sup>2</sup>			自記温度計：有・無 温度計：有・無			
	倉庫	m <sup>2</sup>			有・無		防鼠防虫設備 の有・無	
	その他	m <sup>2</sup>					防鼠防虫設備 の有・無	

#### 4-4 品質管理施設

面積 ( m <sup>2</sup> )				
	区分	型式	基数	備考
保有機械器具	(1) 天びん (感量が 0.1g 以下のもの)			
	(2) 定温乾燥器			
	(3) 日本工業規格 Z8801-1 (2006) に規定する目開き 850 μm の試験用ふるい			
	(4) エキス分測定装置			
	(5) ガラス器具			
	(6) 雑器具			
その他	密封強度測定装置			
	酸素残存率測定装置			
	簡易水分計			

(注) ただし、密封強度測定装置、酸素残存率測定装置はパック品を製造する場合に限る。

工場の名称	
-------	--

#### 4-5 格付のための施設

##### (1) 検査結果評価施設等

施設の区分	面積	内容		
検査結果評価施設	m <sup>2</sup>			
格付書類保管場所	m <sup>2</sup>	ロッカー	棚	倉庫
JASマーク（証票）保管場所	m <sup>2</sup>	ロッカー	棚	倉庫

##### (2) 機械器具

設置場所の面積 ( m <sup>2</sup> )				
	区分	型式	基数	備考
必要 機械 器具	ア 天びん (感量が 0.1mg 以下のもの)			
	イ 定温乾燥器 (100℃に設定した場合の温度調節精度が±2℃であるもの)			
	ウ 日本工業規格 Z8801-1 (2006) に規定する目開き 850 μm の試験用ふるい			
	エ 湯せん器			
	オ 電位差滴定装置			
	カ ガラス器具			
	キ 雑器具			
その他	密封強度測定装置			
	酸素残存率測定装置			
	簡易水分計			

(注) ただし、1 格付のための試料の検査を自ら行わない場合

2 オの電位差滴定装置にあつては、食塩分を電位差滴定装置を用いて測定しない場合については必要ではない。

工場の名称	
-------	--

添付2書類

5 品質管理の実施方法

5-1 品質管理責任者の職務内容

(1) 品質管理（外注管理を含む。）に関する計画の立案及び推進

(2) 内部規程の制定、確認及び改廃についての統括

(3) 従業員に対する品質管理に関する教育訓練の推進

(4) 工程に生じた異常に関する処置とその対策の指導及び助言

(5) 苦情に関する処置とその対策の指導及び助言



工場の名称	
-------	--

5-2 内部規程の整備

品質管理基準の内容（削りぶし）

品質管理項目	内容
(1) 原料の品質管理	
(2) 原料の水洗い	
(3) 蒸煮又は焼軟の管理	
(4) 削り機械の調節の管理	
(5) 削りの状態	
(6) 破砕機の調節及び碎片の状態 (碎片を製造する場合に限る。)	
(7) 粉末除去の管理	
(8) 削りぶしの乾燥の管理（乾燥する場合に限る。)	
(9) 混合割合の管理（混合削りぶしを製造する場合に限る。)	

工場の名称	
-------	--

(10) 製品の品質（異物の混入がないことを含む。）管理	
(11) 包装の状態（パック品を製造する場合の容器の気密性、不活性ガスの充てんを含む。）	
(12) 製造及び品質管理の機械器具の管理	
(13) 工程で発生した不良品及び異常の処置状況	
(14) 苦情処理の処置状況	
(15) 品質管理記録の作成及び保存	
(16) 品質管理の実施状況の内部監査	
(16) 品質管理実施状況について、認定機関による確認等業務への協力	

工場の名称	
-------	--

5-3 品質管理の状況

記録の有無	有・無	品質管理実施期間	
-------	-----	----------	--

5-4 品質管理結果の記録表の作成（製品の自社検査記録を別添すること。）

5-5 内部規程の定期的な見直し、周知方法

工場の名称	
-------	--

添付3書類

6 品質管理を担当する者の資格及び人数

6-1 資格及び人数

該当項目	卒業年次	氏名	略歴	備考
大卒、高卒、 その他 ( )	年 月			
大卒、高卒、 その他 ( )	年 月			
大卒、高卒、 その他 ( )	年 月			
計		名		

6-2 品質管理責任者

氏名	品質管理講習会		備考
	修了年月	修了証番号	
	一般 年 月		
	専門 年 月		

6-3 平成17年改正JAS法説明会受講

氏名	平成17年改正JAS法説明会		備考
	受講年月 年 月	参加証のコピーを添付すること	

工場の名称	
-------	--

添付4書類

7 格付の組織及び実施方法

7-1 組織図

7-2 格付の実施方法

(1) 格付規程の系統的な整備

事項	内容	備考
ア 試料の抽出		
イ 試料の検査		
ウ 格付の表示		
エ 格付後の荷口の出荷又は処分		
オ 格付のための機械器具の管理		
カ 格付記録の作成及び保存		
キ 格付の実施状況の内部監査		
ク 格付の実施状況について、認定機関による確認等業務への協力		

(注) イ、オに掲げる事項は、格付のための試料の検査を自ら行わない場合は必要でない。

工場の名称	
-------	--

(2) 格付のための検査

格付のための試料の検査を自ら行わない場合

委託先機関名	検査項目	委託期間	契約書の有無
		年 月～	有・無

工場の名称	
-------	--

添付5書類

8 格付を担当する者の資格及び人数

8-1 格付検査担当者

該当項目	卒業年次	氏名	略歴	格付検査担当者技能研修	
				修了年月	修了証番号
大卒、高卒、 その他 ( )	年 月			年 月	
大卒、高卒、 その他 ( )	年 月			年 月	
大卒、高卒、 その他 ( )	年 月			年 月	

8-2 格付責任者

氏名：

品目	講習会又は改正 J A S 法説明会の受講
削りぶし	一般修了： 年 月 修了番号 号 専門修了： 年 月 修了番号 号 平成 11 年改正 J A S 法説明会受講： 年 月 修了番号 号 平成 17 年改正 J A S 法説明会受講： 年 月 (参加証のコピーを添付すること。)

8-3 格付担当者 (格付のための試料の検査を自ら行わない場合。)

氏名：

(1) 学歴及び略歴

該当項目	卒業年次	略歴	備考
大卒、高卒、 その他 ( )	年 月		

(2) 講習会 (格付部門)

品目	講習会又は改正 J A S 法説明会の受講
削りぶし	一般修了： 年 月 修了番号 号 専門修了： 年 月 修了番号 号 平成 11 年改正 J A S 法説明会受講： 年 月 修了番号 号 平成 17 年改正 J A S 法説明会受講： 年 月 (参加証のコピーを添付すること。)